

ノーリツ、全国一多い兵庫県のため池を活用し、小野市でメガソーラーを稼働 亥ノ子(いのこ)池水上太陽光発電所を稼働・売電開始 ～ 完成を記念して、竣工式を開催 ～

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ(本社:神戸市、代表取締役社長:國井総一郎、資本金 201 億円、東証一部上場)は、兵庫県小野市浄谷町自治会が所有するため池を活用した水上フロート式メガソーラー「亥ノ子(いのこ)池水上太陽光発電所」を建設しました。2018年3月14日から発電を開始し、3月20日に竣工式を小野市浄谷町自治会と工事会社が参列する中、執り行いました。

同発電所は、太陽光発電モジュール 4,600 枚をフロートに取り付け、池に浮かべて発電を行います。年間発電量は約 135 万kWh に達する予定で、これは一般家庭の約 375 世帯分(1世帯当たり 3,600kWh/年で算出)に相当し、年間約 650 トンの CO₂ の削減効果を見込みます。発電した電力は再生可能エネルギーの固定価格買取制度に基づき、全量を電気事業者に売電します。

兵庫県には約 3 万 8 千カ所の農業用ため池があり(2017 年 4 月現在:兵庫県ホームページより)、全国一の数を誇ります。ノーリツは環境省認証の「エコ・ファースト企業」として、また地元兵庫県の企業として、事業活動を通じた CO₂ の削減と、ため池の保守・保全に寄与し地域貢献に取り組んでまいります。



ため池の水上に太陽光パネルを浮かべる



竣工式(3月20日)

《亥ノ子(いのこ)池水上太陽光発電所 概要》

発電所名	亥ノ子池水上太陽光発電所
事業運営会社	株式会社ノーリツ
設置場所	兵庫県小野市浄谷町 2129-1、2130 ため池水上(亥ノ子上池、亥ノ子池)及び周辺土地 13,550 m ²
出力規模	1.24 メガワット
年間発電量	約 135 万kWh(20年平均)
太陽電池設置枚数	4,600 枚
フロート台数	5,348 台
CO ₂ 削減量	約 650 トン/年
建設費用	約 2.5 億円
運転開始日	2018年3月14日
売電先	関西電力株式会社



亥ノ子池水上太陽光発電所（2018年3月撮影）